



内閣府 消費者委員会 御中

ダークパターン対策協会の活動のご紹介と課題の共有

2025年10月14日

一般社団法人ダークパターン対策協会

代表理事 小川晋平

1. 協会概要と活動内容
2. ダークパターンの問題
3. ダークパターン問題の1つの解決策：NDD認定制度
4. これまでの活動と今後の動き
5. 現在の課題、消費者委員会・消費者行政への意見・要望

1. 協会概要と活動内容

ダークパターン対策協会のご紹介

NDD認定制度の構築・運用をはじめとした ダークパターン撲滅に向けた取り組みをおこなう一般社団法人

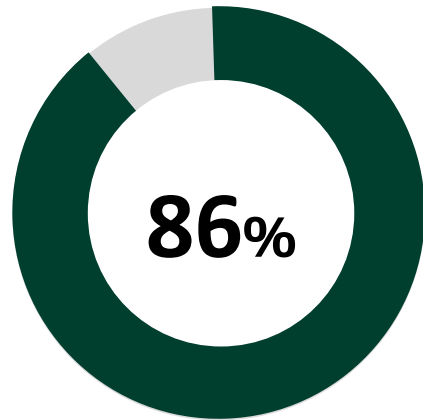
事業内容
1. NDD認定制度の構築・運用
2. 認定制度の審査員向け教育、試験
3. 認定制度の審査機関の認定
4. オンライン認定マーク付与システムの構築・運用
5. ダークパターン・ホットラインの運用
6. 会員向けダークパターン対策教育、セミナーの実施
7. 会員の意見収集および法改正に向けた政府への提言
8. ダークパターン対策を行う他団体との交流・意見交換
9. ダークパターン対策ツール・サービスの認定
10. その他当法人の目的を達成するために必要とする事業
所在地
東京都千代田区神田須田町1丁目7番8号

体制	
代表理事	小川 晋平 (株式会社インターネットイニシアティブ ビジネスリスクコンサルティング本部長 一般社団法人日本DPO協会理事)
理事	岡田 淳 (森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士)
理事	カライスコス アントニオス (龍谷大学 法学部 教授)
理事	増田 悦子 (公益社団法人全国消費生活相談員協会 顧問)
監事	芝崎 章太郎 (合同会社デジタルワークサポート 代表)
顧問	赤石 浩一 (東京海上ホールディングス顧問 元デジタル庁デジタル審議官)

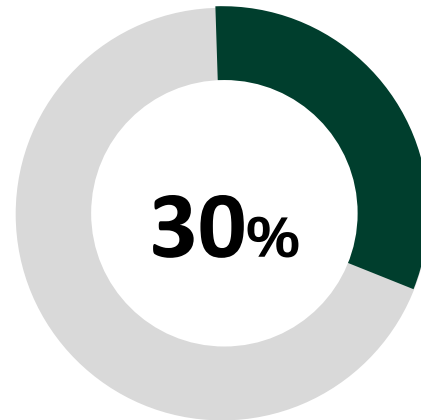
2. ダークパターンの問題

ダークパターンによる消費者被害の拡大

ダークパターンを
経験したことがある



ダークパターンにより
金銭被害を受けたことがある



ダークパターンによる
1人あたり年間被害額
(推計)

およそ

33,000円

訴訟が難しく泣寝入りしてしまうケースも

推計被害総額：年間1兆円以上

日本のインターネット人口1億400万人と想定

ダークパターンを事業者が使う背景

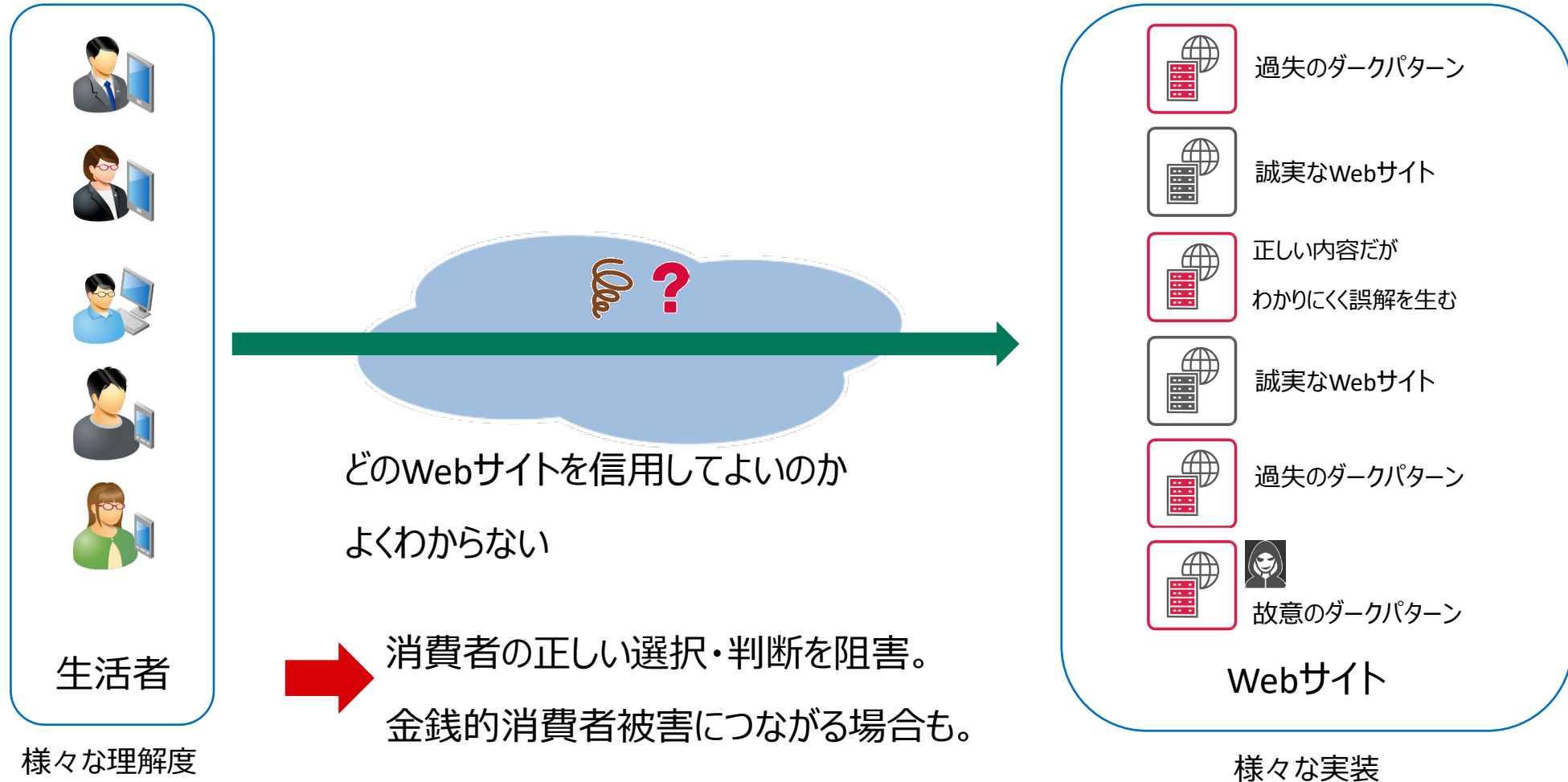
短期的な売上増。間違った勝ちパターンが横行。

特に高齢者やお金を持ち始めたが社会経験の浅い高校生、大学生はダークパターンによく騙される傾向にあります。

縦スクロールの商品・サービス説明ページで消費者の心理を事業者側に有利に仕向けるダークパターンのコンボを使用。こうすれば売れるというダークパターンのWebデザインを倫理観の低いWeb制作会社が企業に提案し、大企業、中小企業に関わらずWebの担当者が深く考えずに無邪気にダークパターンを使っているケースが横行しています。

※スマホアプリは、総務省スマートフォンプライバシーセキュリティイニシアティブおよびApple、Googleによる審査がありますが、Webは無法地帯となっています。

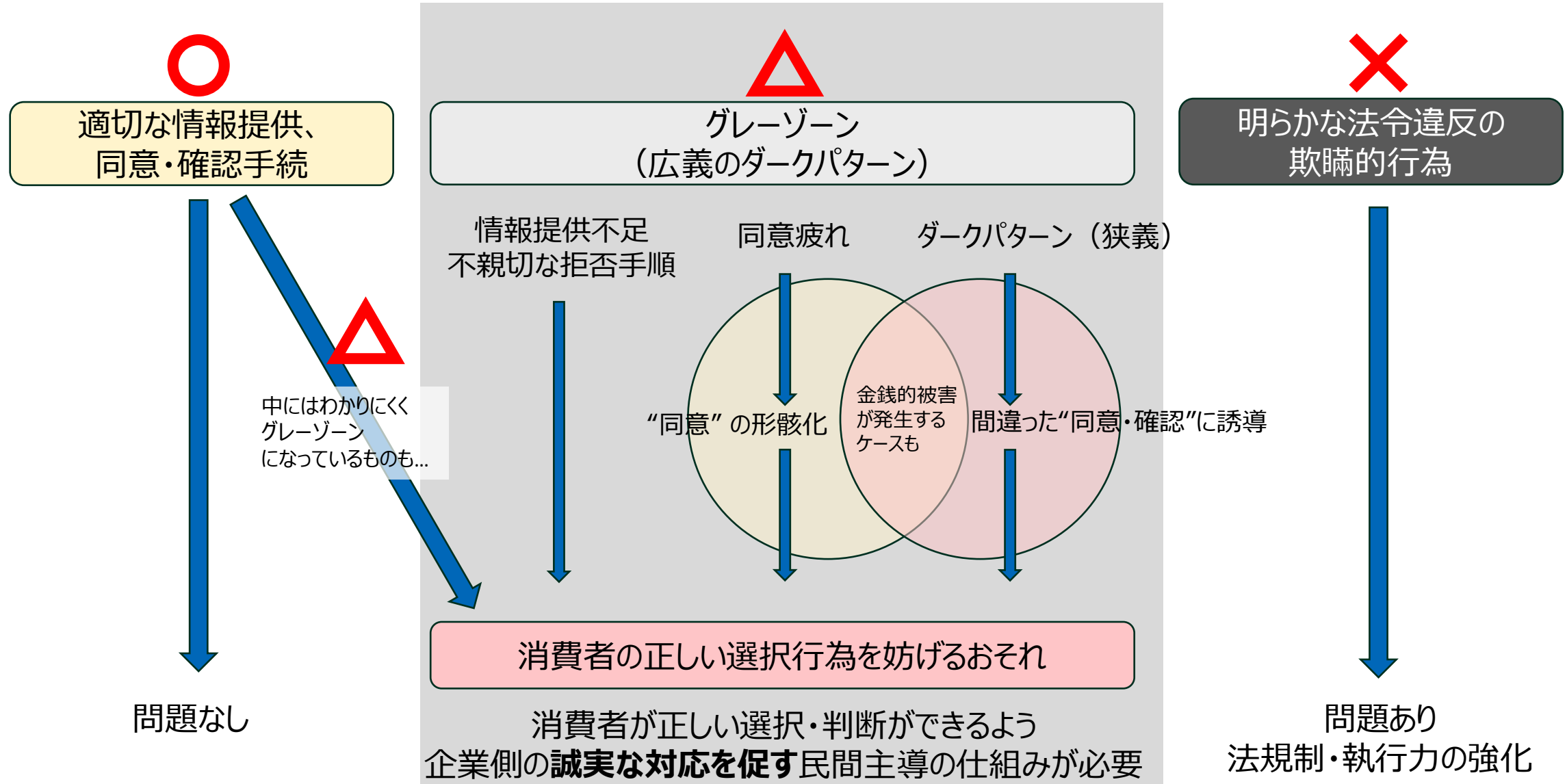
ダークパターンを使うと儲かる世の中は正しいか？



ITリテラシーとの関係でダークパターンに吸い寄せられる生活者が多数→消費者被害へ

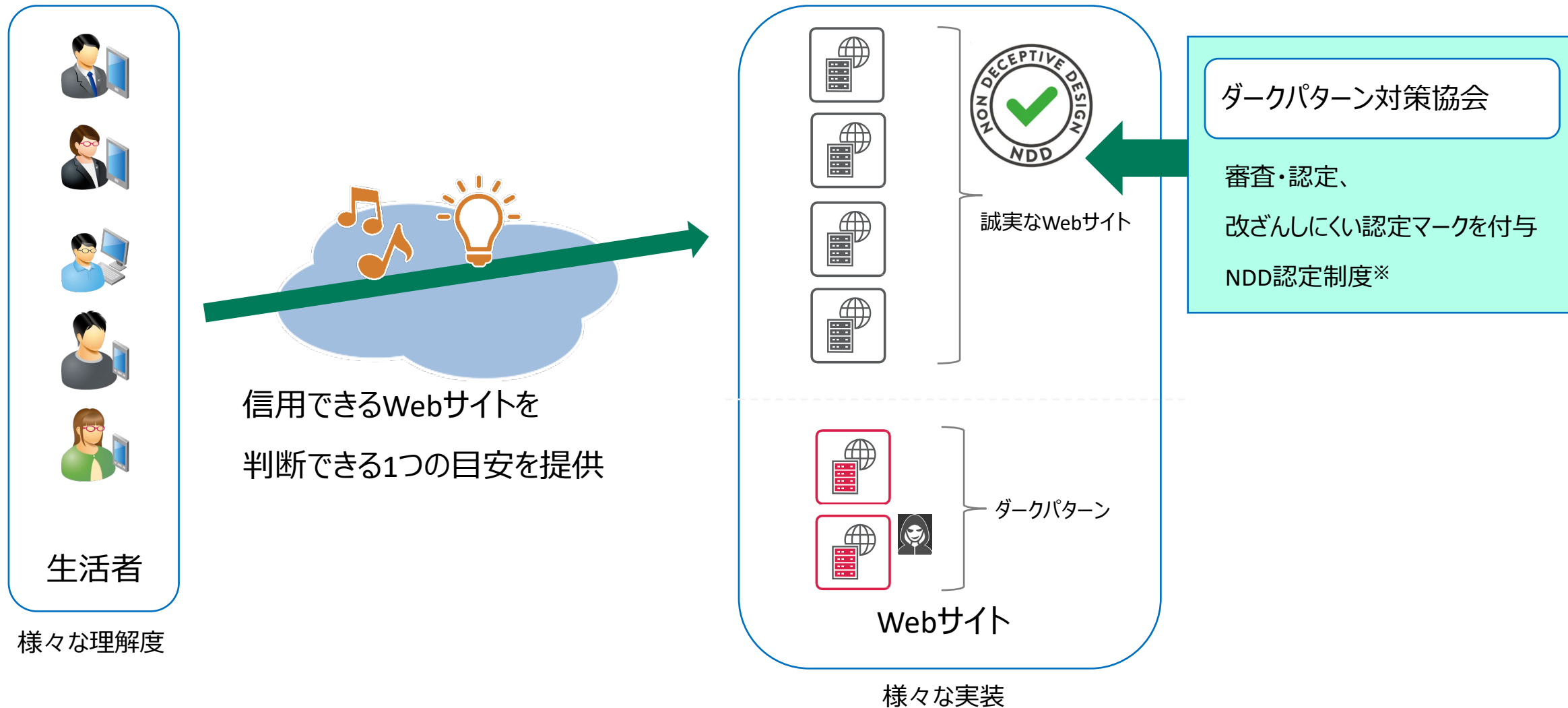
同じ市場環境で誠実なWebサイトが負けてしまう→正直者がバカをみる

ダークパターンを使うと儲かる世の中は正しいか？



3. ダークパターン問題の1つの解決策：NDD認定制度

NDD認定制度で誠実な企業が目でわかるように



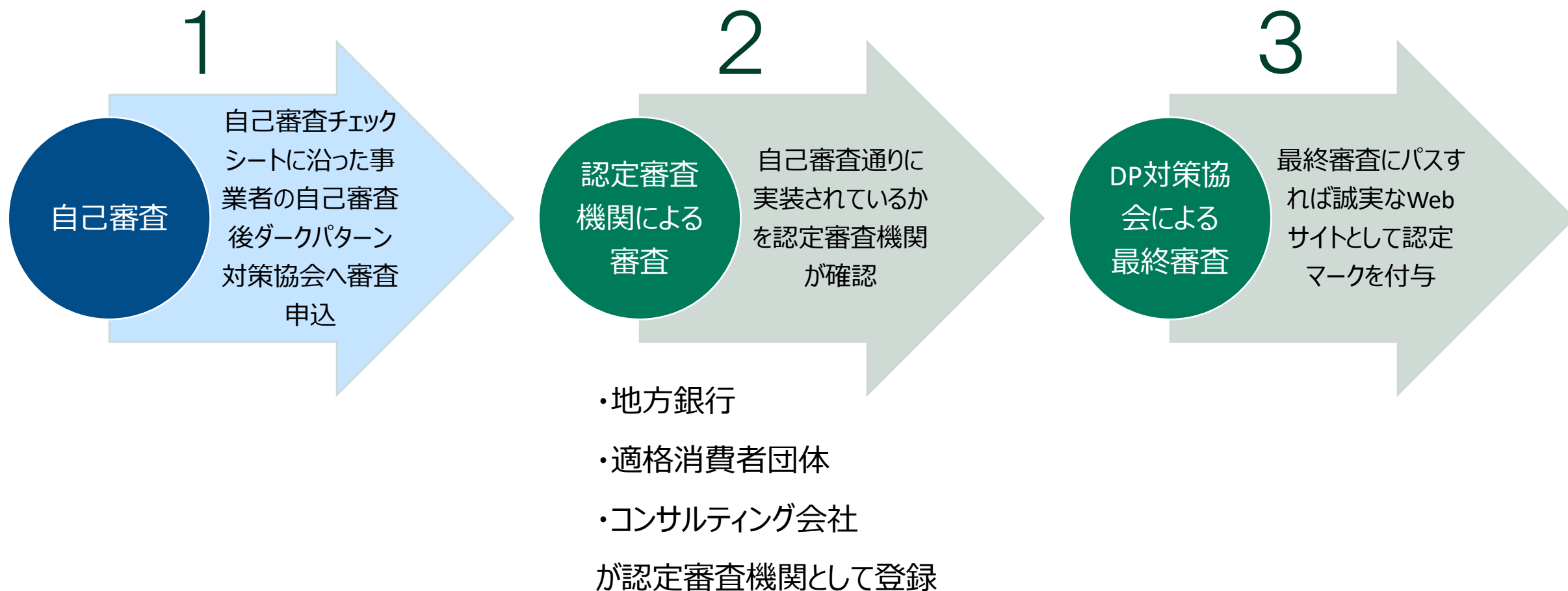
※NDD（Non-Deceptive Design）認定制度：誠実なWebサイトを審査・認定し、改ざんできないロゴを付与する制度。25年10月15日審査開始。

※審査にあたっての制度とガイドラインは有識者、企業Web責任者、政府関係者（消費者庁、総務省、個人情報保護委員会事務局、経済産業省）で構築。

NDD認定制度で誠実な企業が一目でわかるように



三段階の審査による厳しいチェック



4. これまでの活動と今後の動き

これまでの動きと今後の予定

- 7月15日（火） メディア発表会
- ・自己審査チェックシートの公開
 - ・ロゴマーク・アイコンおよび使い方の公開
 - ・ダークパターン・ホットラインの公開
 - ・小中高の家庭科の授業でのダークパターン啓蒙教育開始について
- 7月16日（水） 経済団体（経団連・日本商工会議所）から会員企業に対して自己審査を行うよう依頼。
経団連は消費者政策委員会の企業へ。日本商工会議所は全国150万社に対して。
- 7月17日（木） 金融庁の協力で全銀協、地銀協、第二地銀協から預金取扱金融機関に対して融資先企業が
ダークパターン実装をしないようDX推進の一環で経営指導をするよう協力を依頼。
- 7月28日～ 全国の地銀・第二地銀に対してダークパターン対策・経営指導に関するセミナーを実施
- 10月15日（水） NDD認定制度 審査開始
- 11月より家庭科の授業でダークパターン啓蒙教育開始

5. 現在の課題、 消費者委員会・消費者行政への意見・要望

現在の課題、消費者行政への意見・要望

1. 普及啓蒙に関して

- ・普及啓蒙活動への引き続きの御協力をお願い
- ・中小企業のダークパターン対策に関する助成金の御相談

2. 消費者委員会・消費者行政への意見・要望

- ・所轄省庁の明確化
- ・省庁横断のダークパターン対策検討組織体の構築
- ・法改正への提言
 - ・消費者被害の大きい金銭的被害への対策のグローバルハーモナイゼーション
 - ・プラットフォーム問題
- ・ダークパターン・ホットラインの委託調査事業化

消費者教育ポータルサイト

消費者庁 消費者教育ポータルサイト

当サイトについて 教材を探す 取組事例を見る 講師を探す 注視喚起チラシを探す

トップページ | 教材を探す | ダークパターン啓発動画_ダークパターンオンパレード篇_小学生向け①

教材を探す

ダークパターン啓発動画_ダークパターンオンパレード篇_小学生向け①



教材名	ダークパターン啓発動画_ダークパターンオンパレード篇_小学生向け①
URL	この教材のURL
概要	小学校高学年の家庭科の授業でご活用頂けるように作成しました。 (根拠不明の)No.1広告、(嘘の)口コミ、(嘘の)在庫あとわずか、(焦らせる)タイムセールやカウントダウンタイマーなど消費者心理を揺さぶる購入に誘導する典型的なダークパターンのコンビネーション事例その1の動画です。 学校の授業はもとより、ご家庭やPTAの会合、消費生活相談員の皆様の研修など、幅広くご活用頂けると幸いです。
キーワード	ダークパターン、小学生、No.1広告、過度な値引き、嘘の口コミ、嘘の在庫、嘘のタイムセール、NDD認定、188
制作年度	2025
領域	生活の管理と契約／選択し、契約することへの理解と考える態度 情報とメディア／情報社会のルールや情報モラルの理解

10月15日より消費者教育ポータルサイト
(<https://www.kportal.caa.go.jp/>)にて動画を公開

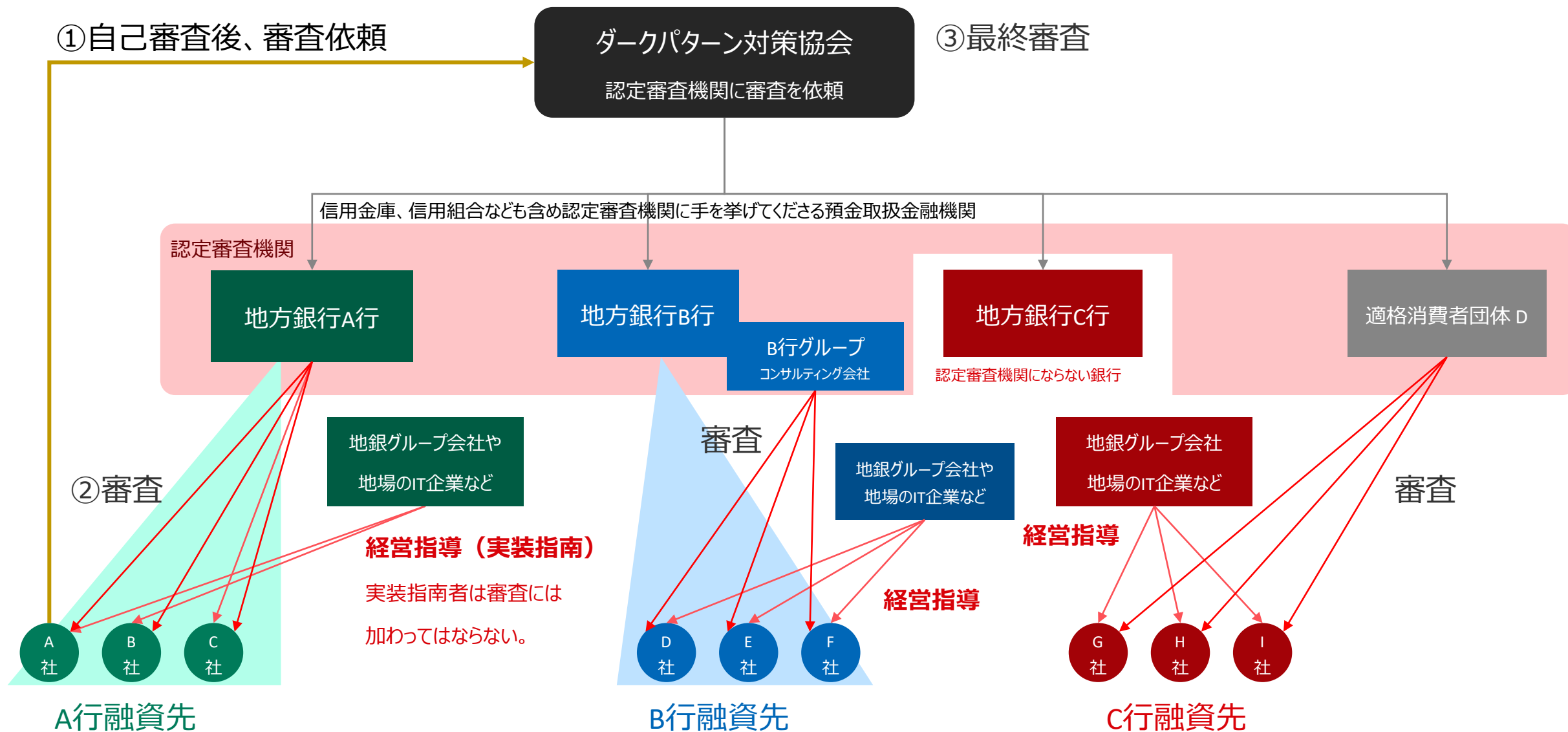
子ども向け啓蒙動画

- ・小学生向け 3本
- ・中学生向け 2本
- ・高校生向け 3本

また、年明けに一般向けの啓蒙動画を公開予定。

広く国民に知ってほしいため、宣伝に関して引き続きのお力添えを頂きたく、宜しくお願いいたします。
消費者委員会事務局へ別途ご相談の機会を頂ければ幸いです。

普及啓蒙に関して



中小企業のダークパターン対策に関する助成金の御相談

認定審査機関を検討している地方銀行の多くより、NDD認定制度の趣旨へご賛同を頂くものの、以下の懸念を表明されている。

- ・中小企業の多くは、日々のビジネス運営に手が一杯であり、売上増に直結すること以外に対する資金投下のモチベーションは高くない。
- ・ダークパターンの問題を理解してくれることは想定できるが、ダークパターン対策費用、審査費用、社内工数を考えた場合に初年度50万円程度、次年度以降30万円程度必要。
- ・この金額を捻出できる中小企業は多くないと考えられるため、助成金などお力添え頂けないものだろうか。

消費者委員会・消費者行政への意見・要望

- ・所轄省庁の明確化
 - ・省庁横断のダークパターン対策検討組織体の構築
 - ・具体的法規制に関する相談
 - ・消費者被害の大きい金銭的被害への対策に関するグローバルハーモナイゼーション
 - ・プラットフォームの問題
 - ・ダークパターン・ホットラインの委託調査事業化
- 参考：インターネットホットラインセンター

一般社団法人ダークパターン対策協会

<https://www.ndda.net/>



チェックマークは“信頼できる状態”を約束するシンボル。

「信頼」「安定」を象徴するグリーンを組み合わせることで、

誰もが安心して使えるインターネット環境の証を表現しています。

このシンプルなロゴデザインには、目に見えないインターネットの

世界にこそ必要な消費者へ「見える安心」をお届けすることと、

ダークパターンへ対峙する企業としての責任ある姿勢が込められています。